

私立大学情報教育協会  
平成29年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

D-1班 出藍の誉れ

# 発表テーマ

ライフプランニング力  
養成のための提案

# 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、  
未来を切り開いていく人材を育成すること。

(引用:平成28年3月31日中央教育審議会『三つのポリシーの策定と運用に係るガイドライン』)

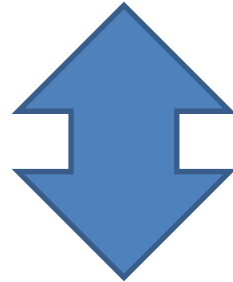
役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

学生が主体的に活動できる場を提供し、社会に送り出す。

# 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

大学が就職支援をして送り出す



大卒3年以内の離職率は  
31.9%

(2016年10月『マイナビニュース』)

## 課題の発見

目の前の就職活動を乗り切るのに精一杯で  
長期的な将来設計を考える機会が乏しい。  
人生を通したライフプランを作成する力を  
育成・支援する必要がある。

# 問題点の深堀

受身での就職活動

ライフプランを立てる意義を実感できていない



その理由は？

大学まではレールが敷かれていたため受身  
働くイメージができていない／企業名で選社してしまう  
現場で働いている「生の声」が届いていない／  
学んでいることをどう活かせるのか考えられない



学生が主体的にライフプランを考えるための  
仕組みづくりが必要

# 解決策の検討

キャリアセンターの役割を拡大し**ライフプランニングセンター**を設立。

リアルな交流の場として、  
OB・OG交流サロンを開設

ネット上の交流の場として、  
現役学生とOB・OGネットワークシステムを  
構築・運用

## (1) 入学時

- ・ **ライフイベント年表**の作成(次年度以降も更新)  
→将来のライフプランを設計し、履修選択や諸活動に役立てる

## (2) 在学中

- ・ OB・OGとの交流
- ・ 活躍しているOB・OGの紹介**コンテンツ**を制作し、システム内で配信

## (3) 卒業後

- ・ **後輩**に対する**バックアップ**
- ・ 自身のライフプランについて**大学へ相談可**
- ・ 異業種交流会でOB・OG間での**つながり**を促進

# 解決策の検討

## ライフイベント年表 イメージ図

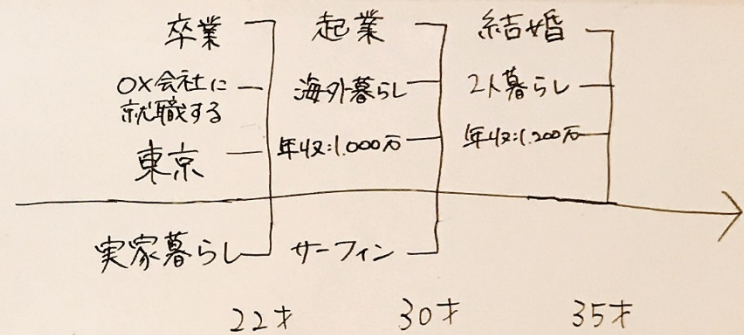
### ライフイベント年表 (A)

	0~10才	11~20才	21~30才	31~40才
社会的立場	児童	学生	起業	
環境	東京	東京	海外暮らし	
ライフイベント				結婚
家族	5人	5人	1人	2人
お金			1,000万	1,200万
趣味			サーフィン	

在学中

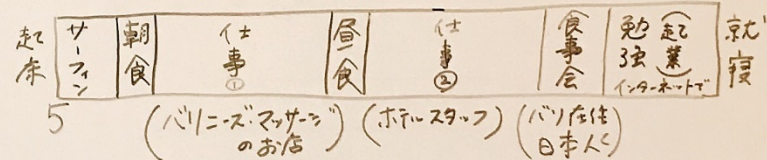
	1年次	2年次	3年次	4年次
履修科目				
単位数	14	20	20	16
留学		←	→	
奨学金		←	→	
資格	TOEFL 600	マカニョ バイト		
就職は動			←	→

(B)



### (C) 25才の私の一日

私は バリ島 に ひとり 暮らしています。  
どこ 人数





# 効果検証

主体的に学生生活を送ることができたか検証

ライフプランの作成が学生生活にどのような影響を与えたか検証

学生やOB・OGに対する満足度を調査

システム運用に係るランニングコストのバランスを検証

OB・OGのサポートを行うことで、  
学生へのサポート体制に支障がないかどうか検証

# おわりに

副次的なメリットとして.....  
通ってよかったという実感が“母校愛”を醸成する



- 志願者数の増加
- 寄付による財政面でのバックアップ
- 大学への有益な情報提供

ご清聴ありがとうございました。